

瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり検討委員会

第2回 検討委員会

日時 令和7年8月27日(水) 15時00分～

第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

1. 第1回委員会の 振り返り

□ 第1回委員会での意見等のまとめ

総論

- 産業近代化拠点を作る上で明確なビジョンやコンセプトが必要。
- にぎわいをどこに持たせるのか考えなければいけない。

産業

- デジタル技術の導入につながるような拠点として、さまざまな産業の交流や起業家の支援など、まちの産業を後押し活発化させる施設のイメージ。
- モノレール沿線だけではなく圏域を捉え、その全てがビジネスフィールドという考えの下、企業と連携して、この拠点を応援してもらう流れを作りたい。
- 施設を通じて、次世代を担う人材育成の要素も取り入れた方がよい。
- 企業誘致できれば、雇用も生まれ、人口増にもつながり、税収も入ってくる。

農業

- 農地は、まち中の緑やコミュニティづくりなど多面的機能を持ち合わせている。
- 町の農業振興につなげるという視点も含め、土地利用を考えることが大事。

その他

- モノレール沿線の大学と連携し、学生たちを呼び込むことも期待できる。
- 町民にも議論に参画してもらう機会を作してほしい。

第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

2. ヒアリング(町 内事業者等) 結果の共有

□ヒアリングの実施①

(1)金融機関(瑞穂町内に支店)

ヒアリング対象	日時
青梅信用金庫 専務理事	6月12日(木) 15時00分～
多摩信用金庫 価値創造事業部地域支援グループ、官民連携担当、瑞穂支店 支店長	7月10日(木) 15時00分～
西武信用金庫 瑞穂支店 支店長 、長岡支店 支店長	7月24日(木) 10時00分～

(2)商工会関連(瑞穂町内)

ヒアリング対象	日時
瑞穂町商工会工業部会 部会長 他6名	令和7年7月8日(火)18時00分
【郵送】会員にアンケートを郵送	令和7年6月中旬 登録企業約200社に送付

(3)瑞穂町内企業等

ヒアリング対象	日時
株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域武蔵総務部	令和7年7月23日(水)15時30分～
ジョイフル本田 瑞穂店 店長、総務マネージャー	令和7年7月24日(木)10時00分～

2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有

□ヒアリングの実施②

(4)農業従事者(瑞穂町内)、農業関連機関等

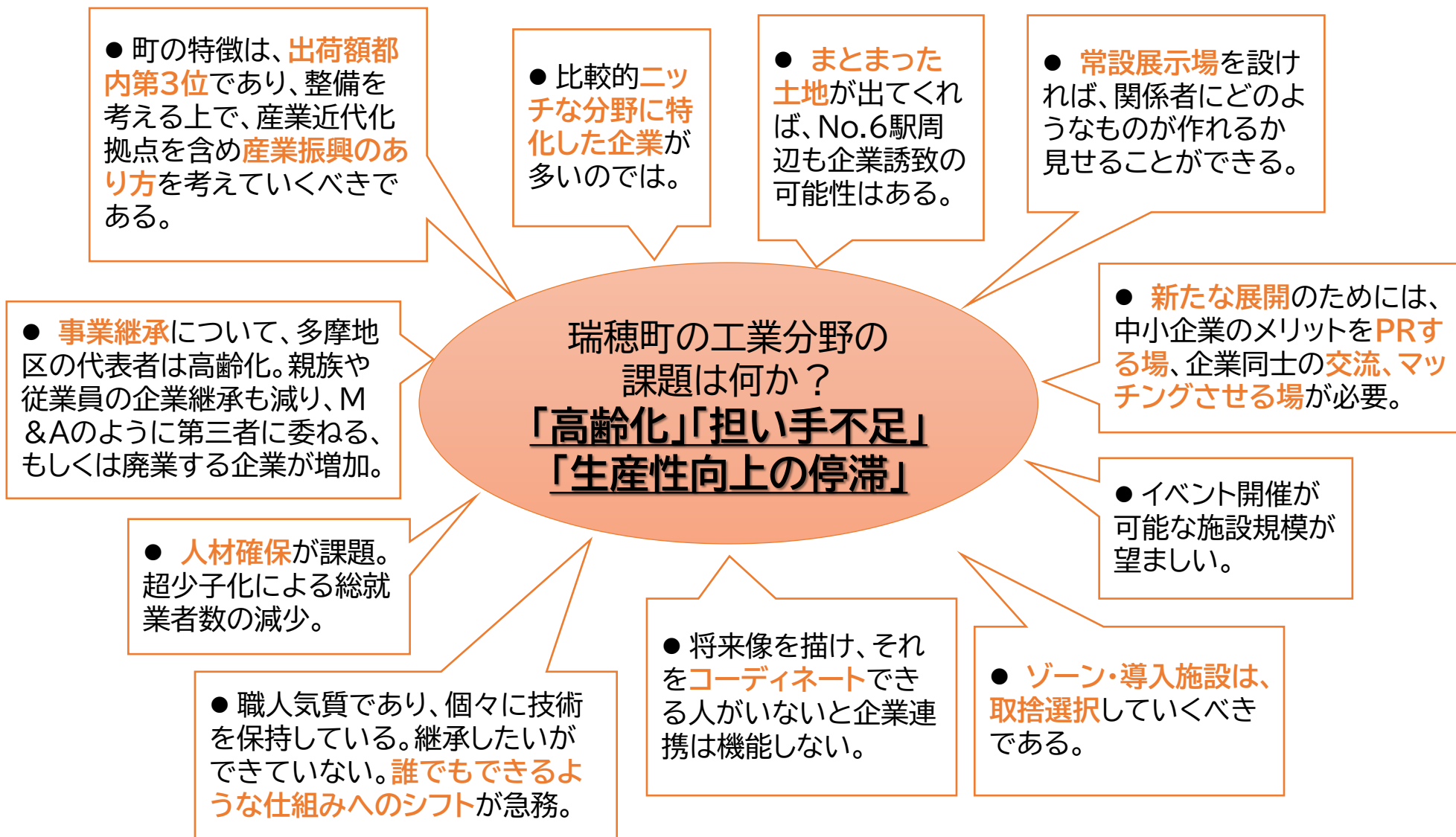
ヒアリング対象		日時
瑞穂町農業委員会 会長		令和7年6月3日(火)13時20分～
	野菜🥕 A氏(新規就農者)	令和7年7月7日(月)10時00分～
	酪農🐄 B氏	令和7年7月7日(月)11時00分～
	茶用🍵 C氏	令和7年7月7日(月)14時00分～
	野菜🥕 D氏(新規就農者)	令和7年7月7日(月)16時15分～
	野菜🥕 E氏	令和7年7月8日(火)10時00分～
	野菜🥕 F氏(新規就農者)	令和7年7月8日(火)11時00分～
	花卉🌸 G氏(シクラメン等)	令和7年7月8日(火)14時00分～
	野菜🥕 H氏	令和7年7月8日(火)15時30分～

ヒアリング対象		日時
西多摩農業協同組合 営農経済部、営農経済部		令和7年6月30日(月)13時30分～
東京都立瑞穂農芸高等学校 校長、副校長		令和7年8月7日(木)10時00分～

2. ヒアリング(町 内事業者等) 結果の共有

□ヒアリングのまとめ①

金融機関(瑞穂町内に支店)、商工会関連(瑞穂町内)、瑞穂町内企業等



2. ヒアリング(町内事業者等) 結果の共有

□補足資料 瑞穂町工業分野の現状①

◆交通利便性が高く、仕入れ先・消費地へのアクセスが良好と評価

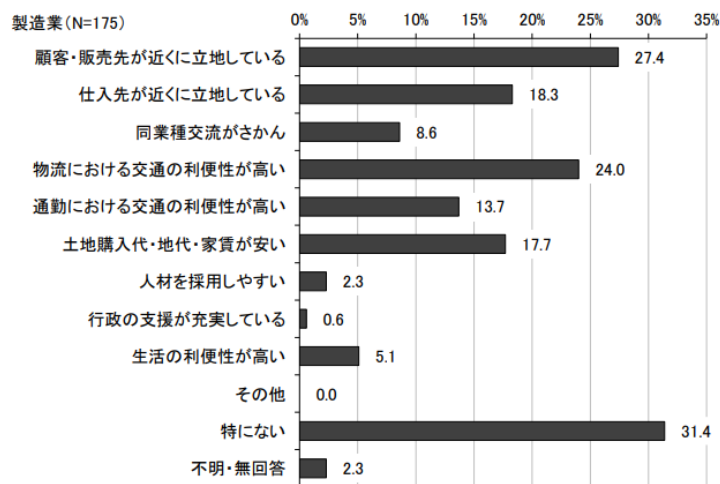
- ヒアリングによると、「顧客・販売先が近くに立地している」が27.4%、「物流における交通の利便性が高い」が24.0%、「仕入先が近くに立地している」が18.3%がメリットとして認識されている。

◆従業員の高齢化、人材確保など「人」の課題が顕著

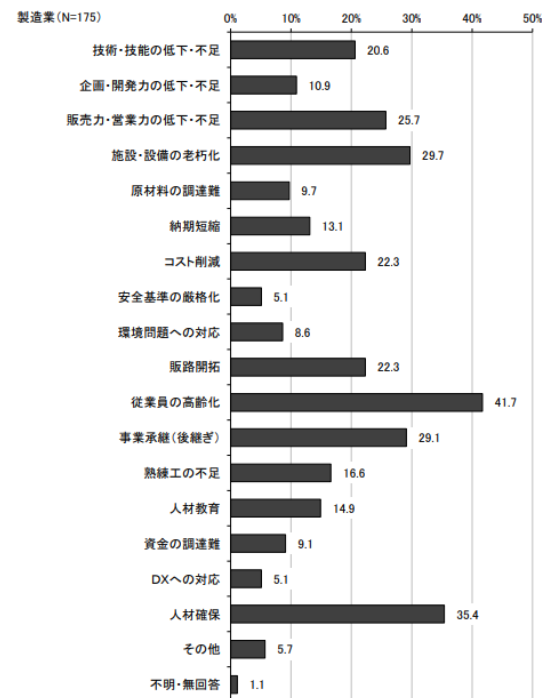
- ヒアリングによると、「従業員の高齢化」が41.7%と最も多く、次いで「人材確保」が35.4%、「施設・設備の老朽化」が29.7%が経営課題として認識されている。

■事業所が瑞穂町に立地するメリット

事業所が瑞穂町に立地するメリットについてみると、「特にない」が31.4%と最も多く、メリットとしては、「顧客・販売先が近くに立地している」が27.4%、「物流における交通の利便性が高い」が24.0%、「仕入先が近くに立地している」が18.3%となっています。



出典:瑞穂町 工業振興計画



出典:瑞穂町 工業振興計画

2. ヒアリング(町 内事業者等) 結果の共有

□補足資料 瑞穂町工業分野の現状②

◆産業拠点としての機能が強い

- 産業構造では、製造業(東京都平均7.0%→瑞穂町26.9%)、運輸業・郵便業が東京都平均を大きく上回り、産業拠点としての機能が強い。

◆事業所数は増加傾向

- 2022年における瑞穂町の製造業の事業所数は前年比0.7%増の273事業所。3年連続の増加。

瑞穂町の産業大分類別事業所数割合

- 1位 製造業
26.9% (東京都7.0%)
- 2位 卸売業・小売業
24.6% (東京都24.2%)
- 3位 建設業
12.3% (東京都6.4%)

資料：東京都総務局統計部 (2016年)

東京都と比較して「建設業」、「製造業」が特に高くなっていることが特徴

瑞穂町の産業大分類別従業者数割合

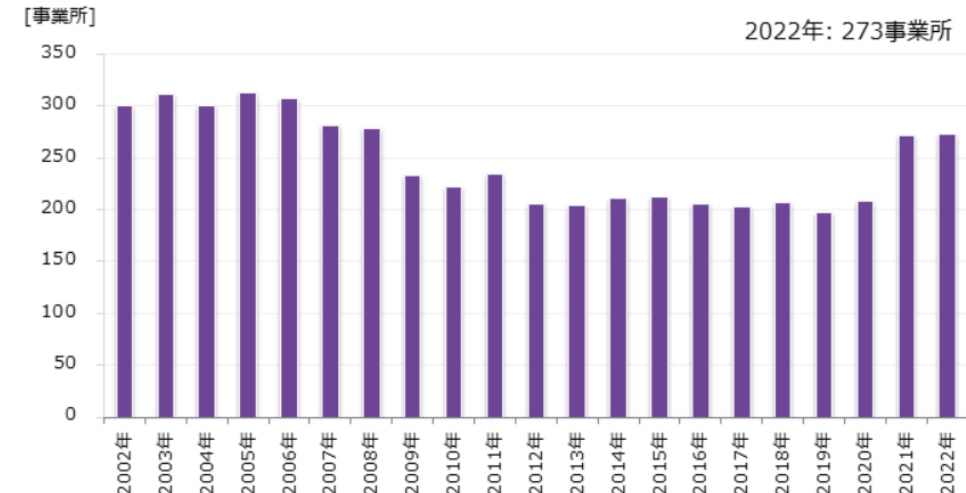
- 1位 製造業
36.4% (東京都6.6%)
- 2位 卸売業・小売業
18.8% (東京都22.0%)
- 3位 運輸業・郵便業
13.4% (東京都4.9%)

資料：東京都総務局統計部 (2016年)

東京都と比較して「製造業」、「運輸業・郵便業」が特に高くなっていることが特徴

出典：瑞穂町産業振興ビジョン

瑞穂町(東京都)の事業所数の推移



出典：経済産業省 工業統計(従業者数4人以上の事業所、
～2020),経済構造実態調査(全事業所,2021～)

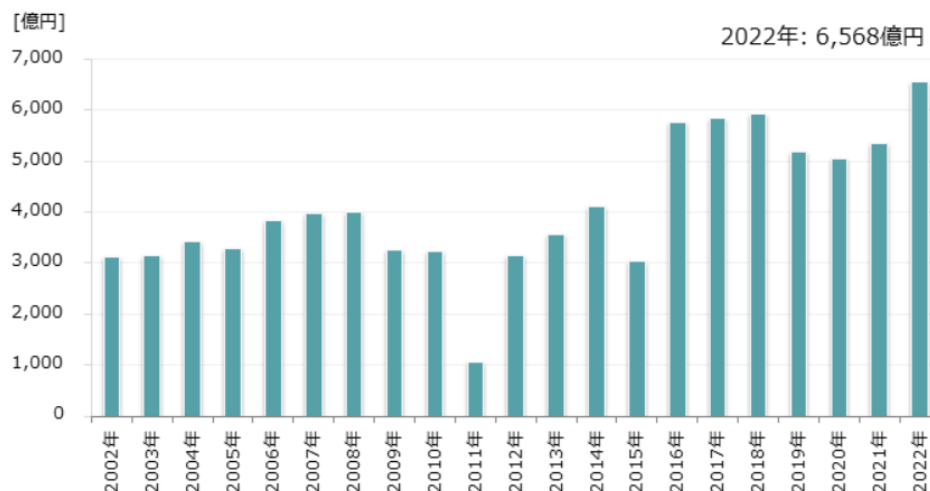
2. ヒアリング(町 内事業者等) 結果の共有

□補足資料 瑞穂町工業分野の現状③

◆2022年時点での製造品出荷額等は 過去最大

- 2022年における瑞穂町の製造業の製造品出荷額等は前年比22.9%増の6,568.1億円で2年連続の増加。2002年以降で当年が最大。

瑞穂町(東京都)の製造品出荷額等の推移

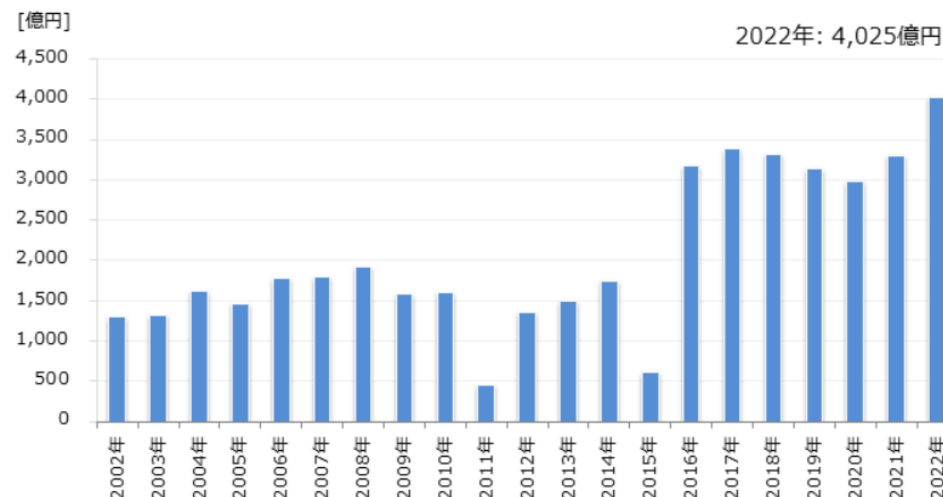


出典:経済産業省 工業統計(従業者数4人以上の事業所,
～2020),経済構造実態調査(全事業所,2021～)

◆製品の粗付加価値額は増加しつつある

- 2022年における瑞穂町の製造業の粗付加価値額は前年比22.2%増の4,024.5億円で2年連続の増加。2002年以降で当年が最大。

瑞穂町(東京都)の粗付加価値額の推移



出典:経済産業省 工業統計(従業者数4人以上の事業所,
～2020),経済構造実態調査(全事業所,2021～)

2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有

補足資料 瑞穂町工業分野の現状④

◆404件の企業リストの分析

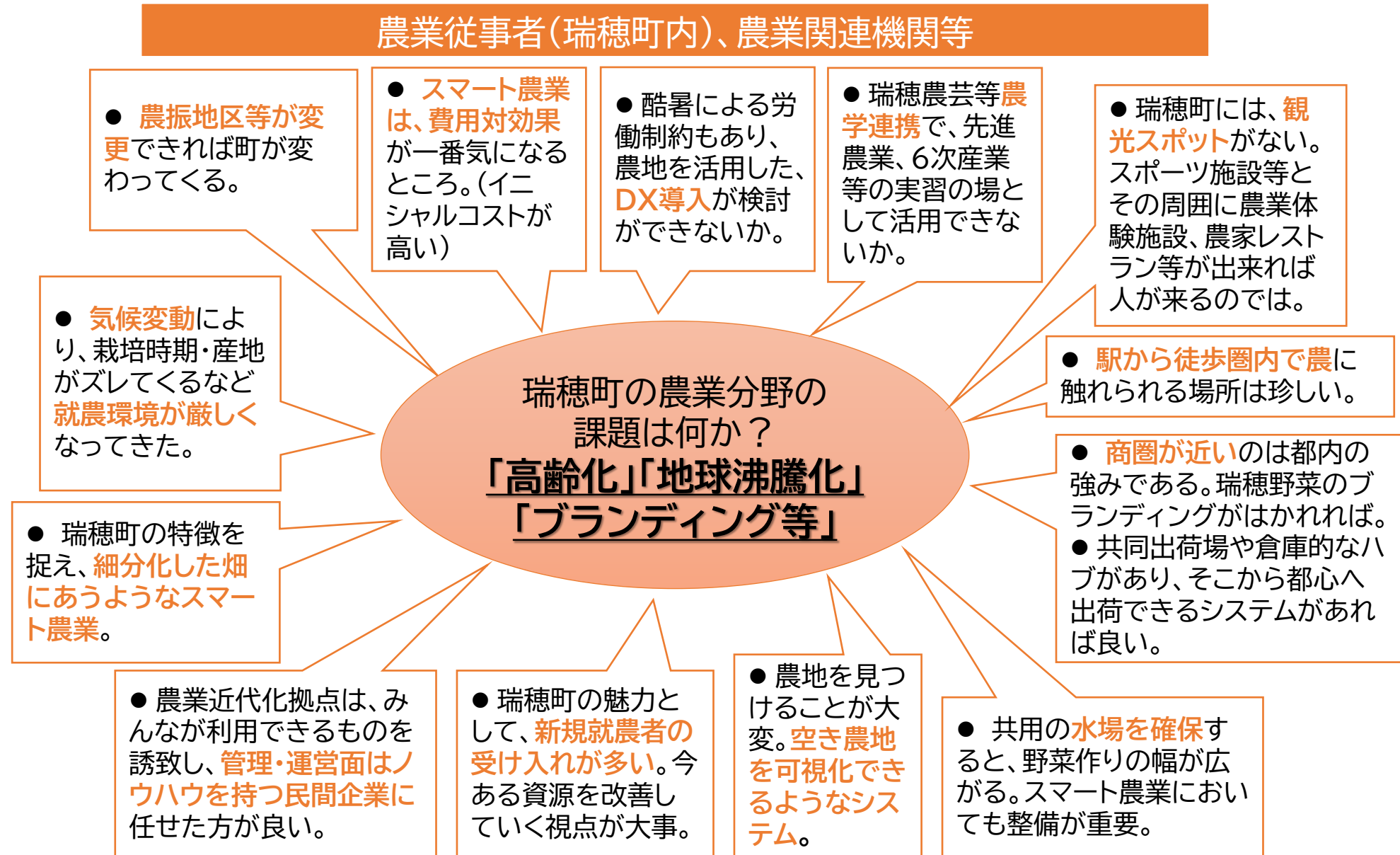
- 「製造業」の内訳は、「加工」(57.6%)、「塗装」(8.2%)、「精密部品」(5.9%)、「鉄鋼」(4.7%)、「包装」3.5%)の順。

大分類	小分類
加工	複写機の側板などの金属加工
加工	電子ビーム受託加工事業
加工	エネルギーや航空・宇宙関連などの大型精密部品加工
加工	含浸剤の製造・販売及び受託含浸加工など
加工	自動車部品の板金加工や厚板や薄板および試作品などの加工
加工	精密機器加工や微細穴加工など
加工	筐体加工や板金加工
加工	レーザー加工、プレス加工等の金属部品の加工、販売を一貫体制で行う
加工	研削加工を中心とした金属部品加工
加工	レーザー加工や精密板金などの金属加工
加工	プレス加工や溶接および板金加工
加工	半導体製造装置等の精密機械部品の加工・組立
加工	精密板金加工など
加工	拡散接合技術を用いた部品の製作・加工
加工	半導体関連部品などの金属切削加工など
加工	受託切削加工や雑貨類の製造
加工	レーザー加工などの金属加工
加工	板金加工や機械組立および金属製品の製造
加工	金属部品の板金加工やレーザー加工など
加工	金属加工
加工	OA機器部品や医療機器部品および小径シャフト部品などの切削加工
加工	金属加工
加工	航空機エンジン部品や半導体部品などの加工
加工	建設機械用マフラーのプレス加工やガス溶接など
加工	金属加工
加工	ウォータージェットによる金属加工
加工	金型の製作や金属のプレス加工および板金加工
加工	精密板金加工ならびにアルミニウムやステンレスの加工
加工	精密部品や治具の加工
加工	金属プレス加工や板金加工など
加工	鋼管の切断加工、およびメタルソーの再研磨や卸売
加工	金型の製作や金属のプレス加工および板金加工
加工	精密板金加工や溶接加工および建築板金加工など
加工	難削材にも対応した金属の切削加工
加工	プレス板金などの金属加工
加工	高周波焼入れ等により金属加工
加工	理化学機器部品や船舶用通信機器部品などの精密金属加工
加工	金属プレスおよび板金加工
加工	金属切削加工
加工	スクリーロータの切削加工
加工	金属切削加工を行い、半導体選別機などの製造
加工	金属プレス加工やシートメタル加工
加工	金属プレス加工や板金加工など
加工	金属加工や溶接、半導体製造用装置の部品加工などの請負

大分類	小分類
加工	金属加工や金属製品の製造
加工	ハーネスなどの電線の加工
加工	鉄棒の切断や溶接
加工	金属部品の切削や焼き入れおよび研磨など
加工	金属部品の切削や焼き入れおよび研磨など
塗装	木目塗装や粉体塗装など
塗装	金属製品の塗装
塗装	金属製品の焼付塗装や樹脂製品の塗装など
塗装	金属製品の塗装
塗装	金属製品の塗装
塗装	金属製品の塗装
塗装	金属製品および一般塗装
精密部品	精密機械部品の製造
精密部品	精密機械部品の製造
精密部品	真空用装置部品や半導体製造装置部品など、精密機械部品の製作・販売
精密部品	航空機部品を中心とした精密部品の製造
精密部品	小物精密金属部品の製作
鉄鋼	ダクタイル鋳鉄の製造
鉄鋼	鉄鋼に関する事業
鉄鋼	鉄鋼業や鋼構造物工事
鉄鋼	鉄鋼工業
包装	緩衝包装を専門に製造
包装	段ボールケースをはじめとした包装資材の製造販売
包装	クラフト包装紙・容器袋の収集やリサイクル
その他	高炉用部品や銅鑄物などを製造
その他	機械部品の製造および販売
その他	コンクリート型枠の設計および製造
その他	アクリル造形や模型など制作
その他	半導体製造装置用の部品製作
その他	消防用設備や給排水設備の保守と施工
その他	コンクリート型枠の製造および販売
その他	パンチングメタルなど金網製品の製造および販売
その他	主にエンジン鑄造用の木型の製造・卸販売
その他	小型歯車などの製造
その他	回路設計やプリント基板製造
その他	アルミニウムの表面処理や着色仕上げなど
その他	消防設備の点検や整備
その他	機械工業
その他	舞台やテーマパークの特殊美術製作
その他	食肉処理や食肉製品および惣菜などの製造
その他	段ボールケースの製造および卸売

2. ヒアリング(町 内事業者等) 結果の共有

□ヒアリングのまとめ②



第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

3. 取組の方向性 まとめ

□施策の方向性に向けた分類

	工業・産業サイド	農業サイド
現 状	□強み ● 事業所数/製造品出荷額等は増加傾向(都内第3位) ● 物流利便性が高く、仕入れ先・消費地へのアクセスが良好 ● 産業拠点としての機能が強い ● 製造業の大半は「加工」に強みを持つ □弱み ● 高齢化、人材確保、技術継承、など「人」に課題 ● スマート化(省人化、DX等)の遅れ ● ファントム工場(※1)が機能していない	□強み ● 農地面積は維持されている ● 新規就農希望者の受入れが増えている ● 都市部商圏から近い ● 都立瑞穂農芸高等学校の存在 □弱み ● 農業従事者の高齢化が進行 ● 自給的農家数は維持、販売農家数が年々減少 ● 路地栽培が主であり、気候変動等の影響が大 ● 瑞穂町ならではの特産品が少ない
仮説/示唆	● 製造業、特に製品・部品等の加工が強い ● 事業承継が課題になっている ● 工業の立地優位性がある	● 新規就農者希望はあるものの、農地の供給、教育人材が不足しているのではないかと ● 農業従事者の高齢化等に伴い、スマート農業導入検討の必要性が考えられる ● 都市部からの好アクセスを活かした体験農園やクラインガルテン(※2)等のニーズがあるのではないかと
方向性	● 製造(特に加工)を一体的に受託するコンソーシアム(※3)の拠点 ● まちの転機を新たな開発の機会とし、地域外への展開を図る ● 事業機会創出に加え、人材確保・事業承継を支援	● 自動化、スマート化等による担い手不足の解消 ● 新規就農者への農業指導・支援サービス ● 体験農園・農泊などへの事業展開 ● 農学連携等による先進農業、6次産業等の実証実験の場としての役割と新たな特産品の開発
	● 農業分野の強みと、工業・産業分野の強みを掛け合わせ、業際領域の開発やPRにより、好循環(持続的なイノベーション)を生み出す	

(※1)ファントム工場:東京都瑞穂町の各分野の優れた技術力を有している製造業者約60社のグループ。各企業が集まることで、試作1個から、横連携で行う製品開発・一括発注まで柔軟に対応が可能。設計・製造・組立・検査・納品・保守サービスまでを行う。

(※2)クラインガルデン:ドイツで盛んな200年の歴史をもつ農地の賃借制度。滞在型市民農園とも言われる。

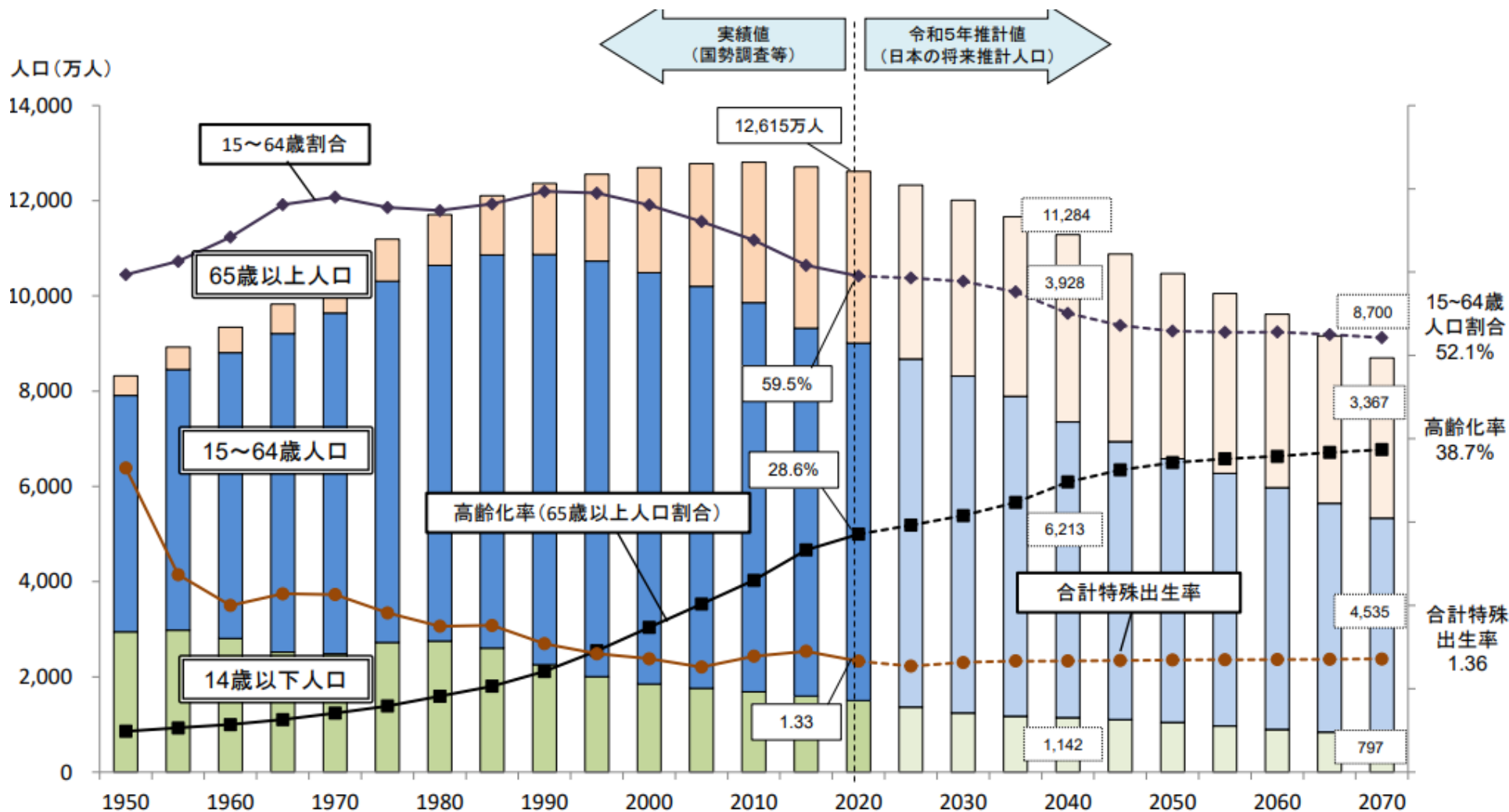
(※3)コンソーシアム:共通の目的を達成するために複数の組織が協力して結成する共同体のことです。

3. 取組の方向性 まとめ

□ 社会環境のリスク予測：日本の将来推計人口

(2025推計：国立社会保障・人口問題研究所)

- 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は約39%の水準になると推計されている。



3. 取組の方向性 まとめ

□ 自然環境のリスク予測：日本の気候変動2025

(2025.3:文部科学省・気象庁)

[日本の気候変動2025における定義]

- 地球温暖化：人為起源の温室効果ガスの排出等によって地球の平均気温が上昇すること(「地球温暖化対策の推進に関する法律」に準拠)。
- 気候変動：自然変動や地球温暖化が原因となって、気温や降水量などの気候の諸要素にもたらされる様々な変化。

□ 年平均気温：いずれのシナリオにおいても上昇すると予測。

- 気温上昇の度合いは、2℃上昇シナリオより4℃上昇シナリオの方が大きい。
- 同じシナリオでは、緯度が高いほど、また、夏よりも冬の方が、気温上昇の度合いは大きい。
- パリ協定の目標を達成できた場合(2℃上昇シナリオ)、2100年時点の年平均気温は、2000年から1.4℃上昇する。

□ 極端な気温

- いずれのシナリオにおいても、多くの地域で猛暑日や熱帯夜の日数が増加、冬日の日数が減少すると予測。
- パリ協定の目標を達成できた場合(2℃上昇シナリオ)、猛暑日は年2.9日増加し、気象の極端化が進行。

	2℃上昇シナリオによる予測 パリ協定の2℃目標が達成された世界で生じ得る気候の状態	4℃上昇シナリオによる予測 追加的な緩和策を取らなかった世界で生じ得る気候の状態
年平均気温	約+1.4℃	約+4.5℃
【参考】世界の年平均気温※ (IPCC, 2021)	(約+1.1℃)	(約+3.7℃)
猛暑日の年間日数	約+2.9日	約+17.5日
熱帯夜の年間日数	約+8.2日	約+38.0日
冬日の年間日数	約-16.6日	約-46.2日

3. 取組の方向性 まとめ

□施策の方向性(案)

検討委員、企業ヒアリングで得られた示唆・課題等を踏まえ、
また、今回のヒアリング(町内事業者等)で得られた意見等を加え、
『施策の方向性(案)』 をまとめた。

課 題	施策の方向性
担い手不足	人材育成、スマート化(省人化・DX)、高付加価値化(待遇改善)
従業員の高齢化	スマート化(ヘルスケア、パワーアシスト、遠隔操作)
脱コモディティ化※ 販路拡大	高付加価値化(ブランド化、六次産業、ファントム工場の実質化)、 展示・販売機能の実装、体験農園・農泊などへの事業展開、広域連携
気候変動対応 脱炭素	品種改良、スマート化(植物工場化)、新たな特産品の開発、 電動化、持続可能燃料の活用、再エネ利用拡大、エネルギーマネジメント



まちづくりのコンセプト

『 危機を機会に変え、新しい時代に確かな暮らしを築く 』

※ 脱コモディティ化
(Decommodification): 商品や
サービスが市場で同質化し、価格競争
に陥る状態から脱却し、独自の価値や
魅力を付加して差別化を図ること

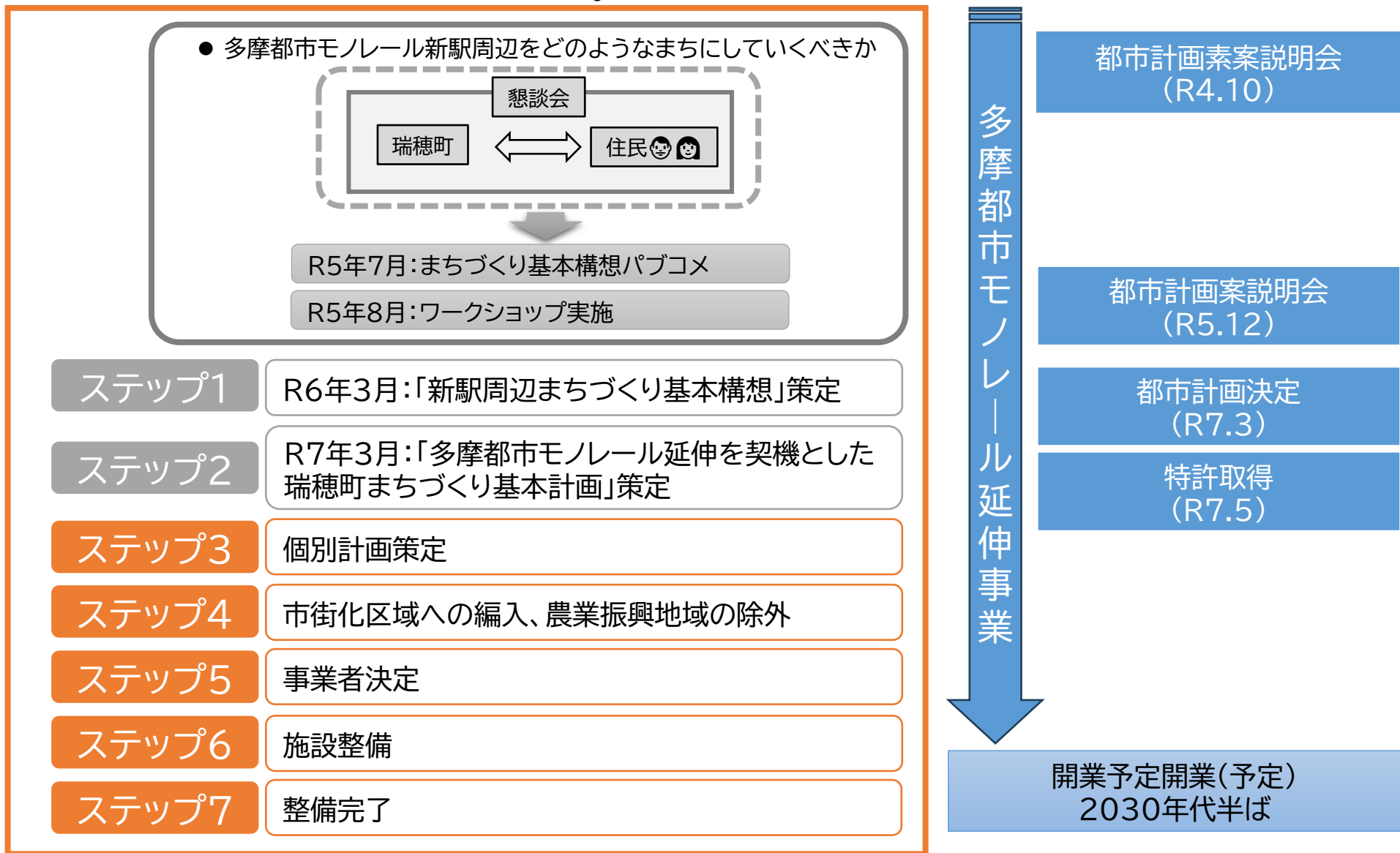
第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

4. 取組実現に向けた課題

□ 取組実現に向けた課題①: 事業スケジュール

モノレール延伸(2030年代半ば)にあわせたまちづくりとなると、スケジュールがタイトである。



4. 取組実現に向けた課題

□ 取組実現に向けた課題②

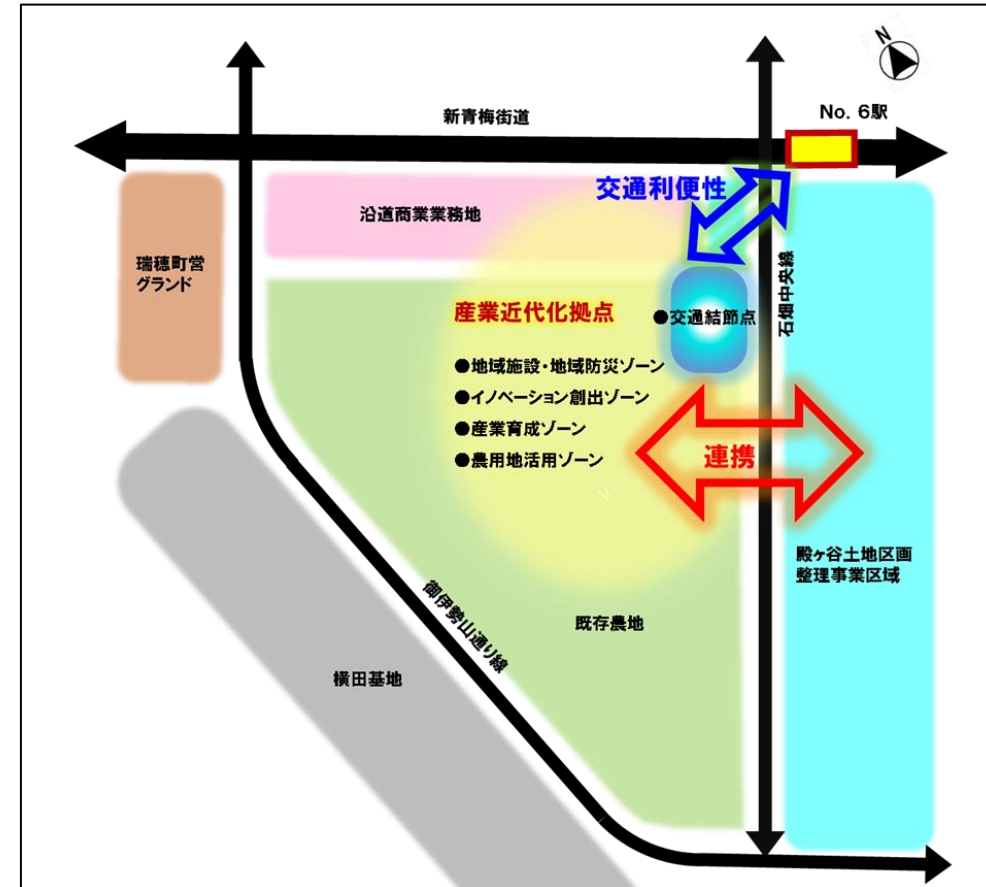
- 「多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画」の実現に向けて、ゾーンの取捨選択、導入施設のイメージの作成が必要。

No. 6駅周辺まちづくり基本計画

□ 全体構想

- ① 駅前空間のにぎわい創出
 - 殿ヶ谷地区と武蔵地区のまちづくりに伴う新たな雇用者や来訪者、地域住民の交流を促進し、にぎわいを創出する。
- ② 産業近代化拠点の形成
 - 武蔵地区には、産業系ではイノベーションやデジタル研究開発、農業系では六次産業やスマート農業等の近代的な産業の誘致・育成をはかる。
 - 町民の健康増進やスポーツを通じた交流づくりのための地域体育施設の整備、また新青梅街道南側における広域避難場所の確保をはかる。
- ③ 交通ネットワークの強化
 - 新駅設置と併せ、モノレールとバス、タクシー等との乗り換えを行うための交通結節点(交通広場)整備やバリアフリー化をすすめ、町内外との地域公共交通ネットワークを強化する。
 - 福生都市計画道路3・5・23号(石畑中央線)の整備により、青梅街道へのアクセス強化をはかる。

産業近代化拠点整備計画



4. 取組実現に向けた課題

□ 取組実現に向けた課題③

- 導入機能の検討: 導入機能について幅広く洗い出し、No.6 駅周辺まちづくりでは「やらない」こと明確化する。

□ 「やること」「やらないこと」精査の方針(案)

- 徹底的なヒアリングと近隣施設調査により、課題と対応状況との関係を整理することで、No.6 駅で対応すべき課題を明確化。
- また、解決策を具体化し、「尖らせる部分」「やらないこと」を浮彫にする。

□ やること(仮説)

- 「連携」 広域連携、産学連携、沿線学生との連携、町全体との連携、産業間の連携(加工業、六次産業)。
- 「デジタル」 デジタル化、DX、中小規模スマート農業、AI活用。
- 「ビジネス支援」 ソーシャルビジネスへの支援(都市課題の解決)、ビジネスコンテスト(企業の新陳代謝)。
- 「経営支援」 学びの場(人材育成)、事業承継、担い手づくり、人材交流、スタートアップ伴走。
- 「農業支援」 生産性向上、高付加価値化、裾野の拡大、ライフスタイルの開発、農産物販売。
- 「みどりの創出」 多面的機能を踏まえた農地やグリーンインフラ。
- 「集客」 モノレールに乗って訪れたいまち、暮らし方も含めて集まる人への魅力を提供。
- 「施設整備」 特徴ある施設整備による差別化、定常的な利活用を想定したオペレーション。

□ やらないこと(仮説)

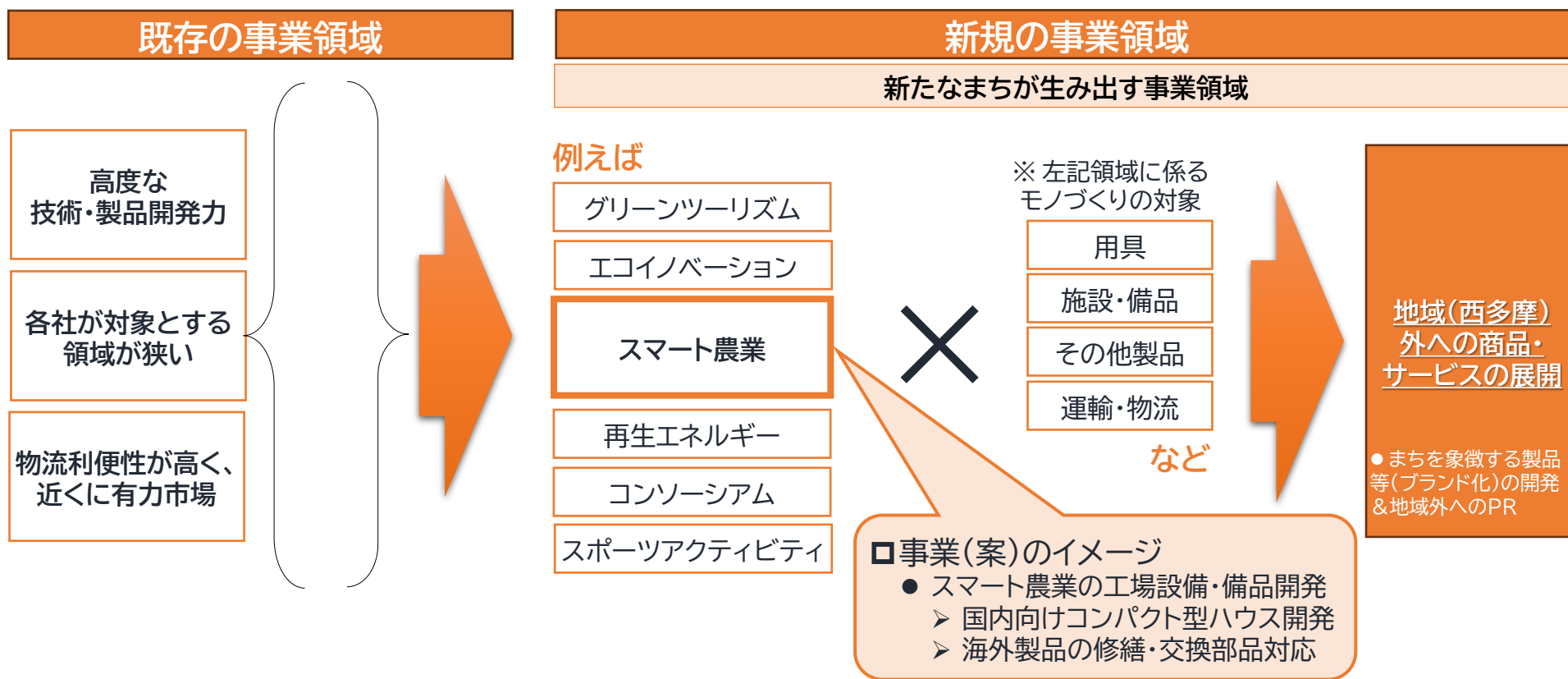
- 地域に適さない(現状に合わない)大規模なスマート農業。
- 近隣の類似施設で事足りること(連携は実施する)。
- 広すぎる拠点の守備範囲(ターゲットや提供価値が不明確になるおそれがある)。
- JA、商工会等と、役割を重複すること(各団体の役割を尊重しつつ、連携できる部分を模索する)。

4. 取組実現に向けた課題

□産業育成ゾーンのイメージ(案)

農業分野の強みと、工業・産業分野の強みを掛け合わせ、業際領域の開発やPRにより、好循環(持続的なイノベーション)を生み出す。

- 工業系の特徴を踏まえた、ショーケース機能の強化と新規の事業領域への染み出し。
- 新駅開業に伴う新たなまちづくりの機会をきっかけとし、まちの工業系の技術・製品開発力(特に、加工の技術)を地域外へ一体的にPRするスキームを構築する。また、新規の事業領域への染み出しもあわせて狙う。



4. 取組実現に向けた課題

□補足資料 先進地視察①:NTT e-City Labo

NTT e-City Labo概要

NTT e-City Laboは、地域循環型社会の共創実現に向けて
NTT東日本グループが取り組むソリューションを見学・体感できる施設です

地域の持続的な産業振興・経済成長



4. 取組実現に向けた課題

□補足資料 先進地視察②:NTT e-City Labo

地域の持続的な 産業振興・経済成長

労働力不足、気候変動による影響など多くの課題を抱える地域産業。
私たちは「持続可能な農業型社会」をめざし、デジタル技術を活用した課題解決
により、地域産業の持続的な振興や経済成長に向けた取り組みを支援します。

一次産業×ICT

ICTを活用して一次産業の振興と持続的成長の実現に貢献します

- ・遠隔監視・遠隔ケア
- ・AI収穫量予測
- ・ドローン農業
- ・閉鎖型センサ監視システム
- ・環境制御・熱収収ICT

エネルギー

再生可能エネルギーの活用によりエコシステムを構築し、地域の産業振興の実現に貢献します

- ・小型型バイオガスプラント
- ・エネルギーマネジメントシステム
- ・蓄電池設備・蓄電システム
- ・地産エネルギー型地域産業振興

製造・流通・小売サービス×ICT

ICTを活用して製造・流通・小売サービス業の効率化や新たなマーケット創出に貢献します

- ・スマートストア
- ・サービスロボットの
- ・スマート製造・物流
- ・ロボティクス

一次産業×ICT

遠隔農業実証ハウス
遠隔作業による実証

ICTによる安全な実証ハウスでの作業の遠隔監視を実現する農業ICTです。
また、AIによる収穫量の予測や、ドローンによる農地の監視、気候変動による
被害の予測など、さまざまな課題の解決に貢献します。

・MAP-07

遠隔作業指導コックピット
データ駆動型農業の実現

遠隔作業の指導やデータ駆動型農業による農地の監視を実現します。
遠隔作業を行う際のリアルタイムでの監視が可能です。

・MAP-08

AI収穫量予測

安定した収穫量と農産物の品質の確保

農地のモニタリングや、ドローンによる収穫量の予測や、気候変動による
被害の予測など、さまざまな課題の解決に貢献します。

・MAP-09

紫外線病虫害防除

紫外線LEDによる害虫・病害の防除

紫外線LEDによる害虫・病害の防除を実現します。また、気候変動による
被害の予測など、さまざまな課題の解決に貢献します。

・MAP-10

ドローン農業

農作業の効率化・負担軽減に向けて

ドローンによる農地の監視や、ドローンによる農地の監視、気候変動による
被害の予測など、さまざまな課題の解決に貢献します。

・MAP-11

遠隔監視・AI収穫量予測

完全閉鎖循環型地上養液プラント

水資源の循環利用に向けた挑戦

完全閉鎖循環型地上養液プラントによる農地の監視や、気候変動による
被害の予測など、さまざまな課題の解決に貢献します。

・MAP-12

[illegible]

② 地域公共交通



自動運転バス
安全な社会と経済成長の実現をサポート

トヨタの自動運転技術と、東海旅客鉄道(JR)の鉄道技術が融合した自動運転バスが、静岡県に導入されています。また、トヨタの自動運転技術と、JRの鉄道技術が融合した自動運転バスが、静岡県に導入されています。



デマンド交通システム
地域の交通サービス確保・維持に貢献

地域の交通サービス確保・維持に貢献。地域の交通サービス確保・維持に貢献。



道路交通台帳
点群データを活用した道路情報電子化を実現

点群データを活用した道路情報電子化を実現。点群データを活用した道路情報電子化を実現。



防災・減災
防災・減災に活用し、安心して暮らせるづくりの実現に貢献します

防災・減災に活用し、安心して暮らせるづくりの実現に貢献します。防災・減災に活用し、安心して暮らせるづくりの実現に貢献します。



インフラ保守・点検
強靱なインフラを整備し技術革新と組み合わせての取り組みを実現します

強靱なインフラを整備し技術革新と組み合わせての取り組みを実現します。強靱なインフラを整備し技術革新と組み合わせての取り組みを実現します。



防火
ICTを活用した防火対策により、高齢者でも安心に暮らせるまちづくりをめざします

ICTを活用した防火対策により、高齢者でも安心に暮らせるまちづくりをめざします。ICTを活用した防火対策により、高齢者でも安心に暮らせるまちづくりをめざします。



医療・健康
地域住民の健康増進と生産性向上により持続可能な社会を実現します

地域住民の健康増進と生産性向上により持続可能な社会を実現します。地域住民の健康増進と生産性向上により持続可能な社会を実現します。



NTT e-City Labo
ロゴの由来、この施設に込めた想い

ロゴの由来、この施設に込めた想い。ロゴの由来、この施設に込めた想い。

防災・減災

防災オペレーションセンター
地域防災・災害情報発信
 町民の安全確保、地域の復興の支援や災害発生時の対応を支援するセンターとして、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 347

地域防災支援
 災害発生時の対応を支援するセンターとして、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 348

防災・みもり業務DX
地域防災の効率化を図る
 防災・みもり業務の効率化を図る取り組みとして、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 349

スマートボール
 スマートボールとデータ連携による防災・減災の取組として、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 350

被災者生活再建支援
 被災者生活再建支援の取組の様子として、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 351

避難所オペレーション
 避難所運営の取組の様子として、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 352

防災備蓄管理
 ニーズに合わせた備蓄品の管理運用として、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 353

災害時における水の確保
 災害時における水の確保の取組の様子として、防災・減災の取組を支援しています。

▶ RAPP 354

備え力

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組として、防災・減災の取組を支援しています。

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組として、防災・減災の取組を支援しています。

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組として、防災・減災の取組を支援しています。

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組

自助・共助・公助の連携による防災・減災の取組として、防災・減災の取組を支援しています。

第2回 検討委員会 次 第

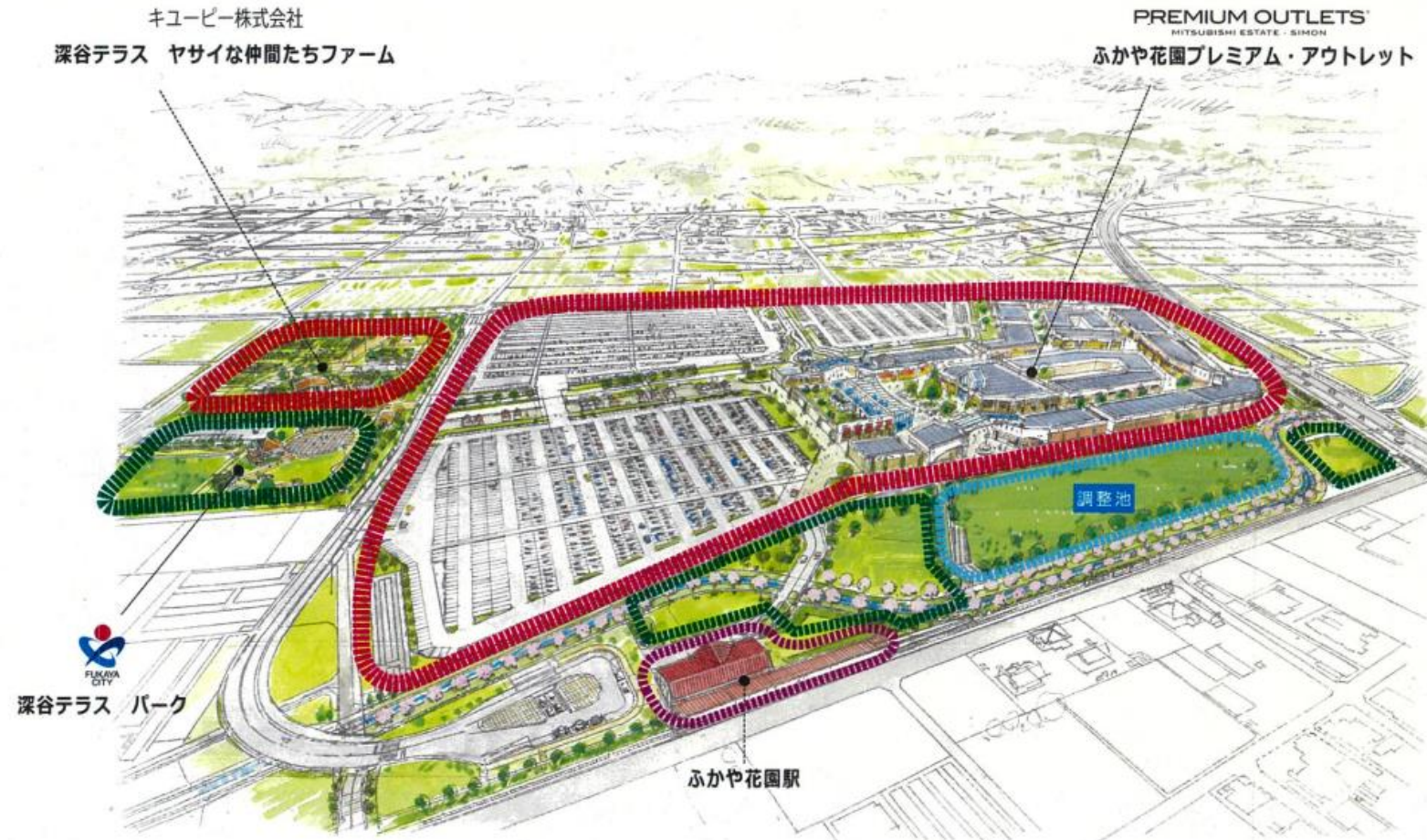
1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

5. 事業スキーム (案)

□【事例】先進地視察① ：花園IC拠点整備プロジェクト(深谷テラスパーク)

1 花園IC拠点整備プロジェクトの概要

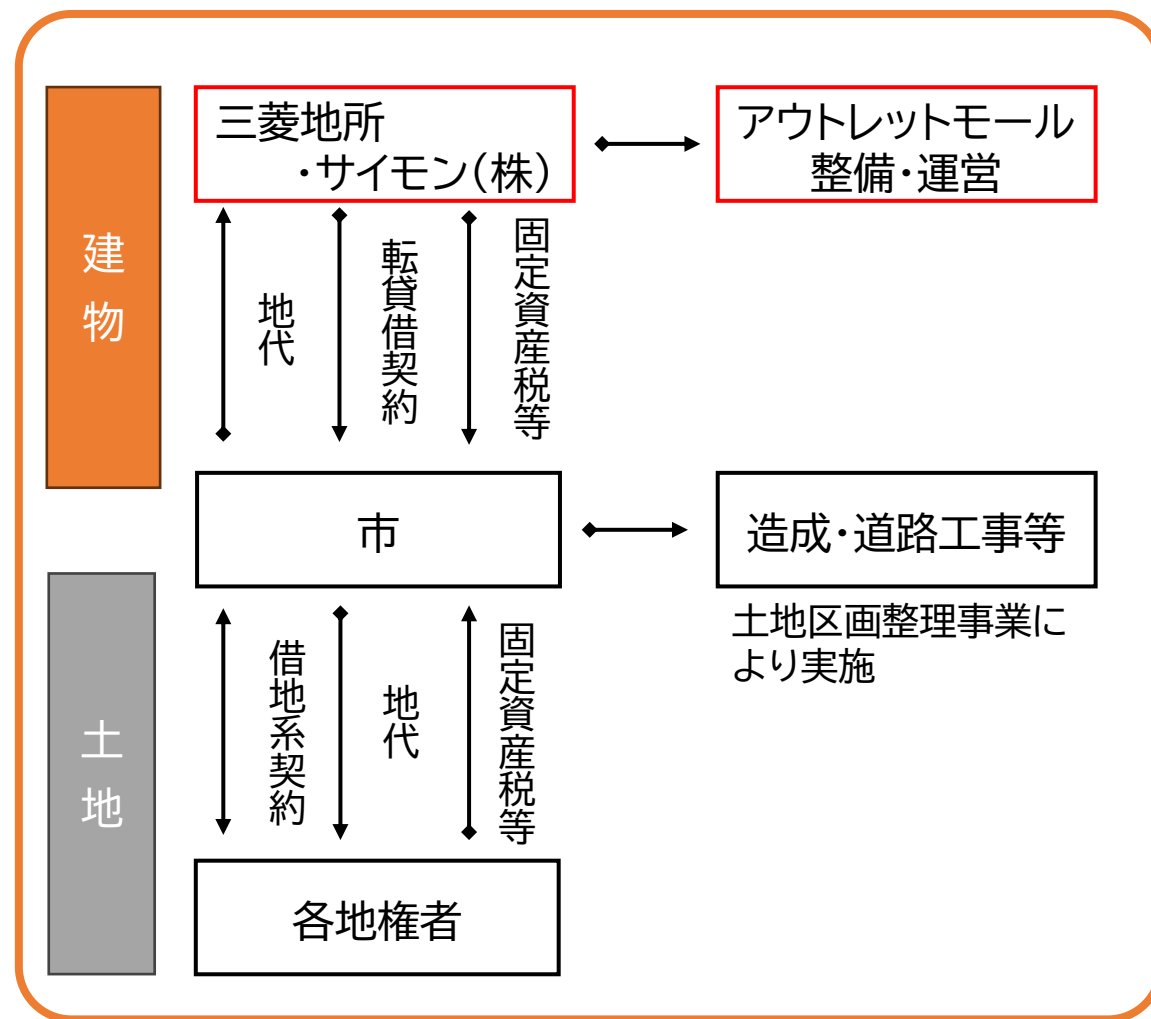
全体イメージ



5. 事業スキーム (案)

□【事例】先進地視察②：花園IC拠点整備プロジェクト(深谷テラスパーク)

◆プロジェクトスキーム(民間ゾーン・アウトレットモール)

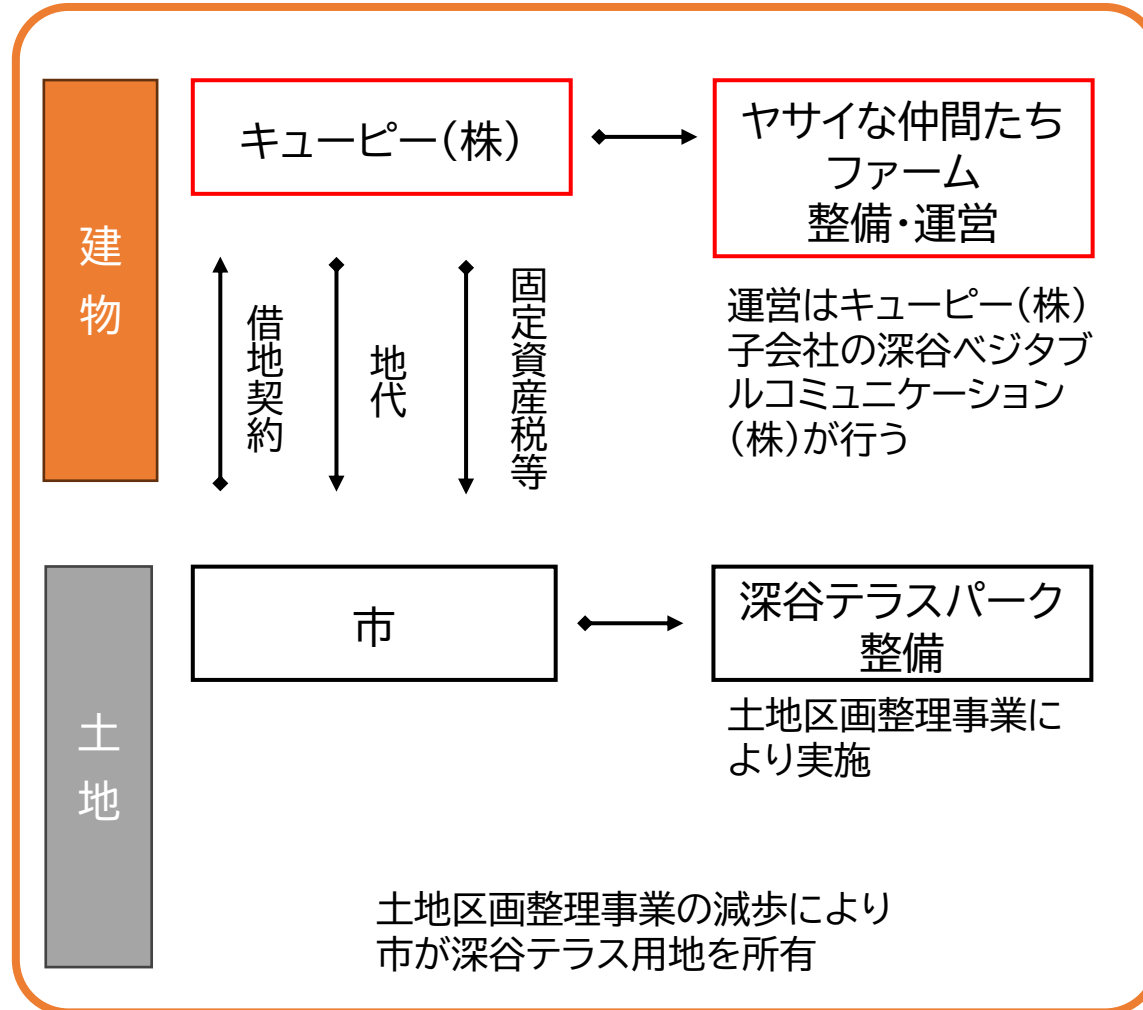


ふかや花園プレミアム・アウトレットのホームページ

5. 事業スキーム (案)

□【事例】先進地視察③:花園IC拠点整備プロジェクト(深谷テラスパーク)

◆プロジェクトスキーム(公共ゾーン・深谷テラス)



5. 事業スキーム (案)

□【事例】先進地視察④:花園IC拠点整備プロジェクト(深谷テラスパーク)

【プロジェクトのポイント】

- **ポイント1:花園IC周辺拠点整備構想・計画**
 - 現在整備されている施設の大枠の内容を決定
- **ポイント2:優先協議者決定**
 - H27.3:民間ゾーンの優先協議者(三菱地所・サイモン(株)G)
 - H28.2:公共ゾーン(深谷テラス)(キューピー(株))
 - R元. 11:両者と事業契約締結
- **ポイント3:ふかや花園駅開業(秩父鉄道):H30.10開業**
- **ポイント4:都市計画決定・区画整理事業計画決定:H31.3同日**
- **ポイント5:事業用定期借地権設定契約**
 - R2.11~:地権者、R3.3:キューピー(株)、R3.7:三菱地所他と契約
- **ポイント6:深谷テラス、アウトレットモールオープン**
 - R4.5:深谷テラス、R4.10:アウトレットモールがオープン

第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

6. 第3回委員会 に向けて

□ 委員会の開催予定について

- 第1回検討委員会 :5月13日(火)10時30分～
 - ・ 前提条件の整理、今後の進め方の確認
- **第2回検討委員会 :8月27日(水)15時～**
 - ・ **町内事業者等へのヒアリング結果の共有・結果からの方向性**
- **第3回検討委員会 :12月頃**
 - ・ **まちづくり計画(スキーム・事業内容等)について協議**
- 第4回検討委員会 :2月頃
 - ・ まちづくり計画の了承

第2回 検討委員会 次 第

1. 第1回委員会の振り返り
2. ヒアリング(町内事業者等)結果の共有
3. 取組の方向性まとめ
4. 取組実現に向けた課題
5. 事業スキーム(案)
6. 第3回委員会に向けて
7. その他

7.その他